

【「復興とは」報告フォーマット】

首都大学東京 中林一樹

1. あるべき「復興」とは何か、あなたはどのように考えますか。
<ul style="list-style-type: none"> ・個の存在を前提とする社会においては、全体主義的に「全てに共通する」あるべき「復興」とは概念としてはあり得ても、実態としてはあり得ない。 ・したがって、あるべき復興とは、「個々の被災者の多様性、地域ごとの特性に配慮した多義的な取り組み」であるということになろう。 ・その結果、具体的には、復興ビジョン・復興計画・復興プロセスは、一つ一つ異なるので、それらに可能な限り対応する制度仕組が講じられること（複線復興）が望ましい。 ・が、そのように「個の復興の集合」として復興される地域・社会は、将来にわたってベストの地域・社会であるとは思われない。 ・被災者にとっては、その人の復興ビジョンの実現に向かって、被災直後から連続的に復興していける復興プロセスが保証された復興プランニングが望ましいが、それが、次世代、その次の世代が主役となる20年後、30年後の望ましい地域・社会の実現につながる、そのような復興が重要である。 ・そのためには、ヴィジョンは市民参加で策定されるべきで、プランニングとプロセスも事前に地域と共有しておくことが重要。そうした事前復興の取り組みが、その時に“よりベターな復興”の実現を可能にすると考えている。
2. あなたの復興観におけるキーワード（最大10個前後）
複線復興、連続復興、総合復興、地域協働復興、連携復興、仮設市街地、事前復興、地域力、復興まちづくり、被災者生活支援、
3. あなたがそのような復興観を持つに至った背景について
<ul style="list-style-type: none"> ・阪神・淡路大震災ノアと、都市計画学会が復興への提言を会員募集し、「被災地に仮設的に住まいを確保し、それを再開発するように復興していくべき」と提案した（都市計画学会1995）。 ・東京都に事前復興対策を提言（東京都1995：阪神・淡路大震災調査報告）し、「都市復興マニュアル」の検討委員会での討議を通して、事前に準備できる（一般化できる）のは「復興計画（図）」ではなく、「復興計画の策定・実践プロセス」であることを主張した。 ・石原知事の下で、「都市復興マニュアル」の下で、目指すべき「復興像（ビジョン）」を、被害想定をもとに、「震災復興グランドデザイン」にまとめ、その実現手法の検討も進めた。 ・1999年トルコマルマラ地震、台湾集集地震からの復興過程に関する調査研究を継続してきた。 ・新潟県中越地震空の復興に関する提言（地域安全学会春季大会2005）を発表した。 ・都市復興・生活復興の各マニュアルを再編改定した「震災復興マニュアル」に基づき、「震災復興まちづくり模擬訓練」を、練馬区（貫井、桜台）、葛飾区（新小岩・堀切）、八王子市（打越旭が丘、諏訪町、<u>上恩方</u>）、<u>豊島区（上池袋）</u>で実践してきた。（下線は2009に） ・練馬区、葛飾区で「震災復興マニュアル」の策定を連携して進めてきた。 ・阪神・淡路大震災をもはるかに上回るスーパー都市災害「東京湾北部地震」からの復興をどう進めるのか、将来にわたり首都として、国家としてのより良い復興への、事前準備が重要。

4. 上記を理解する上で参考となる文献

- ・東京都（1998）「都市復興マニュアル」
- ・東京都（2001）「震災復興グランドデザイン」
- ・東京都（2003）「震災復興マニュアル（プロセス編）」
- ・市古太郎・小野田友美・村上大和・饗庭 伸・吉川 仁・中林一樹（2004）「事前復興論に基づく震災復興まちづくり模擬訓練の設計と試行—練馬区貫井での実践を通して—」地域安全学会論文集 No.6
- ・饗庭 伸・市古太郎・吉川 仁・村上大和・中林一樹・高見沢邦郎（2004）「震災復興まちづくり模擬訓練手法の開発」日本建築学会技術報告集 第20号
- ・中林一樹・澤田雅浩・市古太郎（2005）「新潟県中越地震の災害特性と復興課題」地域安全学会梗概集 No.16
- ・中林一樹（2005）「『事前復興計画』の理念と展望」都市計画 No.252
- ・市古太郎・饗庭 伸・吉川 仁・中林一樹・高見沢邦郎（2005）「震災復興まちづくり模擬訓練による地域協働型事前復興準備の可能性—新小岩地区における実践と参加者調査から—」地域安全学会論文集 No.7
- ・市古太郎・饗庭 伸・佐藤隆雄・中林一樹（2006）「事前復興対策としての都市復興図上訓練の現状と考察—8回目を迎えた東京区市行政職員向け都市復興図上訓練から—」日本都市計画学会都市計画論文集 No.41-3
- ・中林一樹（2006）「東京直下地震と復興計画の基本課題」『都市計画とまちづくり』高見沢邦郎退任記念論文集
- ・饗庭 伸・市古太郎・中林一樹（2007）「首都直下地震に備える事前復興の取り組み—東京における震災復興対策と復興訓練から—」地学雑誌 Vol.116, No.3/4
- ・市古太郎・饗庭 伸・佐藤隆雄・吉川 仁・中林一樹（2007）「基礎自治体の計画発意能力向上に着目した都市復興図上訓練手法の改善と評価に関する研究—2006年度東京都図上訓練を通して—」日本都市計画学会都市計画論文集 No.42-3